

## 2 カバークロップの作付け

- ・ **標準播種量以上に播種し、適正な栽培管理**を行った上で**全量をすき込む**
- ・ 適正な栽培管理が行われているかどうかの目安は、4月以降のカバークロップが**ほ場の概ね8割以上を覆っていること**です。

### (1) レンゲ

#### ① ほ場準備

早めに排水溝を設置し、水尻につなげる等、  
麦作と同様の排水対策を行います。

#### ② 播種・覆土

10月上旬 ~ 10月下旬

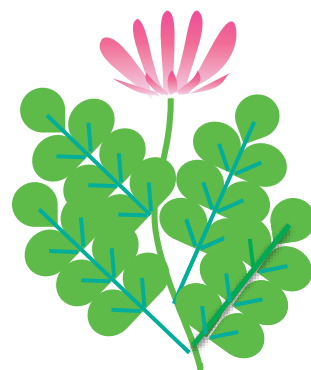
#### ③ 標準播種量

10aあたり2~4kg（遅まきは多めに）

- ・ 播種および覆土作業は、必ずほ場が乾いている時に行います。
- ・ 湿田では播種量を増やします。

※レンゲの生育にムラがあると、レンゲ跡水稻の生育ムラにつながります。播種ムラが無いように均一に播種しましょう。

- ・ 播種後にトラクタ等で軽く覆土します。
- ・ 水稻の収穫前に播種し、稲わらを被覆することで、覆土作業をしない方法もあります。ただし、この方法では排水が悪いほ場では生育ムラが大きくなるので、排水対策の徹底が必要です。



動噴での播種作業



播種後の覆土作業

#### ④ すき込み

4月中旬ごろ

- レンゲの開花が全体の4割程度になった時が、すき込みの適期です。
- レンゲの生育が良い場合は、早めにすき込みます。
- トラクタの速度を低速にし、丁寧な耕うんをおこないます。

##### レンゲのすき込み作業

ロータリの回転を遅くして、  
ゆっくりと、浅めにすき込  
みます。



#### ⑤ レンゲ跡水稻栽培の注意

作業等	注 意 点
入 水	レンゲのすき込みから10日間程度空ける すき込み量が多い場合は長く空ける
田 植 え	入水から1週間以上空ける 60～70株/坪で植付ける
基肥・追肥	原則施用しない
ガス発生抑制	ガス湧きがみられる場合は、早めに軽く干す
中 干 し	目標の茎数が確保できたら、2週間以上行う
穂 肥	葉色を見て判断する